

「第5世代移動通信システム(5G)に関するICT技術セミナー@松山」を開催 《5Gの導入に向けた最新動向を紹介》

総務省四国総合通信局(局長:村松 茂)は、四国情報通信懇談会(会長:松田 清宏 四国旅客鉄道株式会社 相談役)との共催により、平成30年11月21日(金)、愛媛大学総合メディアセンター(愛媛県松山市)において「第5世代移動通信システム(5G)に関するICT技術セミナー@松山」を開催し、自治体、大学、通信事業者、企業などから90名が参加しました。

【5Gの最新動向の紹介①】 総務省における5G導入に向けた取組

総務省 総合通信基盤局 移動通信課 新世代移動通信システム推進室 室長 中里 学

5Gは「超高速・大容量」、「多数同時接続」、「超低遅延」といった特徴を持つ次世代の移動通信システムであり、本格的なIoT時代のICT基盤として早期実現が期待されているもの。

5Gの特徴を活かした新たなサービスの社会実装は我が国全体の成長エンジンとなるもので、都市部だけでなく社会の様々な場面への普及展開が求められている。

総務省が2020年の実用化に向けて取り組んでいる研究開発や国際連携の強化、5G周波数確保に向けた技術基準の策定、新たな市場の創出に向けて実施している実証実験の取組を紹介。国際標準化動向、米欧中韓各国の取組等、我が国を取り巻く状況も併せて紹介した。

【5Gの最新動向の紹介②】 5Gを活用した自動運転の導入に向けた最新の技術動向

ソフトバンク株式会社 先端技術研究部 担当部長 吉野 仁 氏

トラックの隊列走行の実現は、ドライバー不足の解消や労働環境の改善等の社会課題解決につながる。隊列走行(後続車自動運転)には膨大な情報(トラックごとの前後左右の安全確認のためのビデオカメラ画像等)や、データの量は少ないが高度な信頼性を要求される情報(車両間での制御情報等)を即時にやり取りする必要があり、超高信頼・低遅延通信の5Gを活用して実証実験を行っている。

フィールド試験の状況や4GLTEと5Gとの遅延比較のデモンストレーションを交え取組の現状を説明した。

【5Gの最新動向の紹介③】 5Gの導入に向けた最新の取組 —さまざまなパートナーとの協創—

株式会社NTTドコモ 法人ビジネス本部 ソリューションサービス部 担当部長 吉田 直政 氏

各種ICTツール・サービスなどを活用し、松山市の地方創生を推進することを目的として平成30年9月28日に松山市と締結した「5G・IoT・AIの活用による地方創生に関する連携協定」について説明。

5Gを活用したビジネスを検討している建設、農業、自動車、金融等様々な分野のパートナーと新たなビジネスを創出する取組を行っており、パートナー数は全国で1,800超となっており、既に70件以上のソリューション協創事例を創出している。重機の遠隔操作や高精細診断画像による遠隔診療、顔認証ゲートによるセキュリティエリアの実現などのトライアル事例を紹介した。

参加者アンケートでは、「パートナー企業と連携した様々な可能性があることに興味を持った」、「実機や導入事例を見学したい」などの声が寄せられました。

今後とも、四国総合通信局では、地方公共団体、企業、一般の方々に、ICT/IoT利活用に関する理解を深めその取組を進めていただくため、セミナーを開催するなど啓発に努めてまいります。

【個別相談会】「5G利活用アイデアコンテスト」について

講演会終了後には、11月30日まで公募中の「5G利活用アイデアコンテスト」に応募を検討されている方々を対象とした個別相談会を実施し、4組の自治体、大学、企業等から、提案に向けた相談を受けました。

【お問い合わせ先】 情報通信部 電気通信事業課 089-936-5043

(主催) 四国総合通信局
(共催) 四国情報通信懇談会
(後援) 四国経済産業局、愛媛大学
愛媛県、四国経済連合会
えひめAI・IoT推進コンソーシアム